



地方独立行政法人 長崎市立病院機構

長崎みなとメディカルセンター

NAGASAKI HARBOR MEDICAL CENTER

臨床研修 Guidebook

この2年間で
あなたの未来を大きく変える

2022年 4月発行



20年後には、
実際にしたことよりも、
しなかったことを
後悔することになるだろう。
今こそ、安全な港より旅立て。
自らの帆で冒険せよ。
夢を抱き、探求するのだ。

Mark Twain

われらが思い

患者さんとそのご家族から
職員とその家族から
そして地域から信頼され、愛される病院となります。

目標に向かって

1. 思いやりの心をもち、安全で質の高い医療を提供します。
2. 地域に根ざすとともに、国際的視野をもった病院になります。
3. 人間性豊かな医療人を育成し、医療の発展に貢献する研究を行います。
4. みずから考え、やりがい、喜び、誇りをもてる環境を創ります。

CONTENTS

■ 病院概要	1
■ 卒後臨床研修プログラム ～概要～	2
■ 研修プログラム	4
■ 臨床研修ローテーション表	5
■ 診療科紹介	6
■ 研修環境の紹介	14
■ 院内施設／設備	15
■ 病院周辺マップ	16
■ 募集及び選考方法／問い合わせ先	



病院概要

病院基本情報

法人名	地方独立行政法人長崎市立病院機構
病院名	長崎みなとメディカルセンター
所在地	〒850-8555 長崎市新地町6番39号
開設日	昭和23年12月1日
理事長	片峰 茂
院長	門田 淳一
病床数	513床
看護単位	7対1看護
主な指定等	地域医療支援病院 災害拠点病院（地域災害医療センター） 地域医療がん診療連携拠点病院 地域周産期母子医療センター 臨床研修病院 第二種感染症指定医療機関 長崎DMAT指定病院 長崎医療圏病院群輪番制病院 病院機能評価認定病院（3rdG:Ver.2.0） 地域脳卒中センター 救命救急センター
診療科目	内科、呼吸器内科、心臓血管内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、 脳神経内科、血液内科、心療内科、精神科、緩和ケア外科、産科・婦人科、新生児内科、 新生児小児科、小児科、小児外科、外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、 乳腺・内分泌外科、肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、 皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、臨床腫瘍科、病理診断科、 救急科、歯科

柱とする医療

1. 救急医療

重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者を24時間体制で受け入れます。

2. 高度・急性期医療

心疾患、脳血管疾患、がんなどの高度・急性期医療に対応します。また、地域の医療機関と連携をはかります。

3. 小児・周産期医療

母体、胎児、生まれてきたばかりの赤ちゃんのための医療です。産科・婦人科・小児科・新生児内科が連携し、医療を提供します。

4. 政策医療（災害医療・結核医療・感染症医療）

災害派遣医療チームが在籍し、災害時はいつでも出動できる体制を整えています。また、結核や感染症医療にも力を入れて取り組んでいます。

卒後臨床研修プログラム ～概要～

臨床研修の理念と基本方針

理 念

臨床研修は、医師としての長い航海に耐える船を造る作業である。
臨床能力を養うことで船はより大きく丈夫になり、症例を重ねるごとに羅針盤はより正確な方角を指す。
その船を進水させる「みなと」として、病院を挙げて研修医の指導と支援を行っていく。

基本方針 “DEJIMA principle”

Decision-making : 決断力

… 患者・家族の意思を尊重し、最良の方針を決断する。

Essential knowledge and skills : 基礎的知識と技術

… 基本的な知識と技術を習得し、根拠に基づく医療を実践する。

Joint communications : コミュニケーションとチーム医療

… 患者・家族・スタッフと良好な関係を築き、チーム医療で地域医療に参画する。

International outlook : 国際的視点

… 西洋医学発祥の地・長崎にふさわしい国際的視点を持つ。

Motivation : 高い志と探究心

… 日々研鑽を積み、臨床及び研究への高い志を保つ。

Attitude : 医療人たる態度

… 医療人として社会から望まれる振舞いを常に意識する。

研修プログラム責任者

長崎みなとメディカルセンター卒後臨床研修委員会にて研修プログラムの管理、研修計画の実施、研修医の指導・管理及び評価、指導医の評価、研修プログラムの評価、研修医の公募、研修病院間の調整など本プログラムを運営していく全てに責任をもつ。

責任者

三好 宏（麻酔科 主任診療部長）

研修プログラム定員

1年次：10名（予定）

（※うち2名はBコース選択者）

研修の評価及び修了認定

EPOC 2 による評価

（※Bコース：長崎大学病院の規定による）

病院構成

基幹型臨床研修病院	長崎みなとメディカルセンター
協力型臨床研修病院	上五島病院（地域医療） 富江病院（地域医療） 大村共立病院（精神科） 長崎大学病院 長崎医療センター（救急科）
臨床研修協力施設	長崎県五島中央病院附属診療所奈留医療センター（地域医療） 長崎市野母崎診療所（地域医療） 長崎市保健所（保健・医療行政） 白髭内科医院（地域医療） 道ノ尾病院（精神科）

研修医の処遇（基幹型）

身分	非常勤医師
給与	（報酬月額） 1年次 304,400円 2年次 320,200円 （諸手当） 時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、 特殊業務手当、夏季・冬季一時金、通勤手当、 住宅手当 等
勤務時間	週38.75時間（平日8：45～17：30） 休憩時間 1時間
時間外勤務	有
夜間勤務	月／3回程度
有給休暇	採用1年目 10日、採用2年目 11日付与
宿舍	無
研修医室	有
社会保険等	公的医療保険（全国健康保険協会） 公的年金保険（厚生年金保険） 労働者災害補償保険の適用・・・有 国家・地方公務員災害補償法の適用・・・無 雇用保険・・・有 健康管理・・・健康診断を年2回実施 医師賠償責任保険・・・病院において加入 学会、研究会等への参加・・・有 学会、研究会等への参加費用の支給・・・有 BLS、ACLS講習等への参加費用の支給・・・有

※研修期間中のアルバイトは禁止とする。

募集及び選考方法／問い合わせ先

本冊子の裏表紙をご覧ください。

研修プログラム【Aコース・Bコース(逆たすきがけ)】

※1ローテーションの期間は、4週以上とする。

必須科目

内科・・・2年間に24週以上

救急科・・・原則1年目に12週以上（※4週のみ2年目にローテーションでも可。）

地域医療
精神科 — 原則2年目に4週以上（※1年目後半でも可。）

外科
産婦人科 — 2年間に4週以上
小児科 —

選択科目：2年間に56週以内

次のうち希望する科を1～4科程度研修する。

ただし、特定の診療科については、場合により研修できる期間に上限あり。

選択できる診療科

呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、脳神経内科、心臓血管内科、消化器内科、腎臓内科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、皮膚科、産科・婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、心療内科[精神科]、麻酔科、集中治療科、放射線科、病理診断科、救急科、眼科、新生児内科

協力病院・協力施設

（地域医療）上五島病院、奈留医療センター、富江病院、長崎市野母崎診療所、白髭内科医院

（精神科）大村共立病院、道ノ尾病院

（保健・医療行政）長崎市保健所

（救急科）長崎医療センター

（選択科目）長崎大学病院

※Bコース選択について

- ・研修期間は12週間以上56週間以内の期間とする。
- ・原則、長崎大学病院が使用する研修医評価システムにより教育管理される。
- ・研修期間や診療科は相談して決めるので、必ずしも本人の意向に100%添える保証はない。
- ・12週間以上の期間で研修を行う場合、研修先の処遇に従う。

臨床研修ローテーション表

研修ローテーションの概要（順不同。ただし、原則として救急科及び地域医療、精神科の研修年次は固定とする。）

※ Aコース（ローテーション例）

研修期間	24週	12週	4週	12週
1年次	内科(A) [※1]	救急科(A・J)	外科(A)	選択科目[※2] (A～J)

研修期間	4週	4週	4週	4週	36週
2年次	地域医療(B～F) 一般外来(A～F)	精神科 (A・G・H)	小児科 (A)	産科・婦人科 (A)	選択科目 (A～J)

※ Bコース（ローテーション例）

長崎みなとメディカルセンター（1年）	長崎大学病院（1年）
内科(A)、救急科(A・J) 外科、小児科、産科・婦人科(A) 精神科(A・G・H)	選択科目(K) 地域医療(B～F) 一般外来(K)

長崎みなとメディカルセンター（9ヶ月）	長崎大学病院（3ヶ月）
内科(A)、救急科(A)、選択必須(A) 精神科(A・G・H)、地域医療(B～F)、一般外来(A～F)	選択科目(K)

※ 1 A = 長崎みなとメディカルセンター B = 上五島病院 C = 富江病院
D = 五島中央病院附属診療所奈留医療センター E = 長崎市野母崎診療所
F = 白髭内科医院 G = 大村共立病院 H = 道の尾病院
I = 長崎市保健所 J = 長崎医療センター K = 長崎大学病院

※ 2 選択できる科目

A：呼吸器内科、血液内科、糖尿病代謝内科、脳神経内科、心臓血管内科、消化器内科、
腎臓内科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、
脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、皮膚科、産科・婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、
心療内科 [精神科]、麻酔科、集中治療科、放射線科、病理診断科、救急科、眼科、
新生児内科

B～F：地域医療

G・H：精神科

I：保健・医療行政

J：救急科

K：長崎大学病院の選択科目可能科目に従う

診療科紹介

診療科別に特色・指導医数・指導医からのメッセージを紹介



消化器内科

早期胃癌、大腸癌の内視鏡的診断および治療、炎症性腸疾患のマネージメント、肝細胞癌の集学的治療にじっくり取り組む一方、消化管出血の内視鏡的緊急止血、閉塞性胆管炎の緊急減圧治療など消化器緊急疾患にも昼夜を問わず対応するやる気と体力が必要な診療科です。

【指導医数】 4名

指導医からのメッセージ

消化器内科は、患者数が多く疾患も多彩です。知識、技術の習得が治療成績に直結する、責任もやりがいも大きな分野です。

呼吸器内科

呼吸器病学の各分野すなわち感染症、びまん性肺疾患、肺腫瘍、アレルギー性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、呼吸不全などオールラウンドに診療が可能です。スタッフは呼吸器専門医、感染症専門医、アレルギー専門医が揃い、スタンダードの診療をキープしています。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

呼吸器分野では、よく胸部レントゲン写真やCT画像がわかりにくいといわれますが、患者さんを診察して画像を読影することから、診断の裾野が広がり、適切な治療に結びついていきます。画像の勉強に加え、とくに抗菌薬に関する基礎と臨床は非常におもしろく、かつ、役に立つのではと思います。

心臓血管内科

急性心筋梗塞、心不全急性期、急性大動脈解離など命に直結する疾患から患者さんを救命することを大きな目標にしています。だからと言って一人の主治医に負担がかからない様に7人のスタッフで助け合いながら診療を行っています。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

現在の心臓病の基本的な知識、技術を学べると思います。救命に成功して元気に退院される患者さんを見るとやりがいを感じます。

脳神経内科

急性期の脳卒中からパーキンソン病や認知症といった慢性疾患にいたるまで神経疾患を幅広く経験できるとともに、リハビリや介護福祉との連携を通じて患者さんを全人的に診る力が付きます。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

これまで「分からない」「治らない」と揶揄されてきた脳神経内科ですが、近年の診療の進歩は目を見張るものがあります。高齢化社会にともない患者数も増加しており、これからますます需要が見込まれます。やりがいを感じることができる科です。

糖尿病・内分泌内科

糖尿病患者の教育入院を担当するにあたり、チーム医療(糖尿病認定看護師、療養指導士)の重要性を学習します。また、他科入院患者の血糖管理を行うことで、各診療科と連携することの大切さを学びます。糖尿病の先進治療であるインスリンポンプ療法やリアルタイムCGMにも対応しています。

内分泌に関しては、下垂体・甲状腺・副腎等の各種ホルモン過剰症および欠乏症、骨代謝疾患など、様々な症例を経験することができます。

【指導医数】 1名

指導医からのメッセージ

一人一人の患者様としっかり向き合うことで、内科医にとって基本となる問診・身体診察から、専門的な糖尿病・内分泌治療薬についてまで学ぶことができます。また様々な糖尿病チームスタッフと関わることで、コメディカルスタッフの専門性の高さを実感してください！内分泌疾患を診る機会はそう多くありませんが、先生方と一緒に病態を紐解いていければと思います。

血液内科

血液の異常は純粋な血液疾患にとどまらず、内科から外科、更に産科領域を含め臨床全般にわたって日常的にみられる。従って、血液学の知識は、輸血学の知識とともに臨床医にとっては必須のものである。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

血液疾患の病態解明及び治療開発は、ものすごいスピードで進んでいます。以前は、難治と言われていた血液疾患が、標準的な治療によってかなりの割合で治るようになっていきます。

腎臓内科

腎疾患診療は外来・病棟・透析と複数のフィールドを持ち、あらゆる内科疾患と関連するため、内科診療の醍醐味を味わえる診療科です。軽微な検尿異常といった日常診療で遭遇する機会の多い異常から、腎疾患専門機関での加療が必要な急速進行性糸球体腎炎などの急性期治療と急性血液浄化療法(血漿交換、白血球吸着療法など)、また末期腎不全に対する維持透析療法(血液透析・腹膜透析)といった慢性期治療まで経験することができます。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

腎臓内科は全身を診ることができる診療科です。患者さんの病態を適切に判断し、患者さん一人一人に総合的に、よりよい医療を提供したい！そのようなやる気のある皆さんや、透析や輸液について勉強したい先生方など、個々の研修医の先生のニーズに対応し、一緒にレベルアップをしていきたいと考えています。

消化器外科

当科では、手術を実際に覚えていただくことを第一に考えております。外科医としての上達の基本は術者としての手術にあると思います。実際に自分でメスをふるってはじめてわかることが多いものです。良い手術を達成するための外科医としての技術と知識と人間性を鍛えます。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

手術は患者さんにとって、命がけの選択です。それだけにうまくいった時の達成感は患者さんにとっても主治医にとっても絶大なものがあります。毎日が真剣勝負です。ともに頑張りましょう。

呼吸器外科

呼吸器外科全般をバランス良く研修できます。特に呼吸器外科での内視鏡手術をほぼ全例行っており、新しい手技や機器の導入を積極的に行っています。研修医の先生にも、スコピストー助手と手術を行ってもらっています。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

肺癌は癌死亡率第一位の疾患ですが、画像診断・手技技術の向上にて手術で根治が得られる手術が増えてきました。手術は患者さんにとっては命がけの選択ですが、そのぶん最も感謝される医療の一つであり、医師にとってはやりがいのある分野です。

乳腺・内分泌外科

女性悪性疾患において乳癌は年次罹患数が第一位となり、さらに増加しています。当院は、日本乳癌学会の認定施設、乳房再建用エキスパンダー／インプラント実施認定施設であり、乳癌の標準治療、乳房再建、臨床試験参加などを研修できます。また甲状腺外科研修により、内科的甲状腺疾患の理解も深まります。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

罹患数が多い乳癌の診療を行っていますが、乳腺専門医は非常に少ない現状です。乳癌診療では診断から、治療方針決定、治療、再発治療、緩和まで、全段階を習得できます。研修でやりがいを感じてもらい、乳癌治療を志してくれると幸いです。甲状腺外科も取り扱う病院が少なく、貴重な研修となると思います。

心臓血管外科

心臓血管外科は外科医の立場から生命の中枢ともいえる心臓、大血管を扱います。また抹消静脈、静脈疾患も対象として診断、治療を行う診療科です。通常的心臓大血管手術、カテーテル治療法などの手技、術後循環、呼吸管理の習得を目標としています。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

心臓手術は基本的に心臓機能改善を目的とした治療です。多くの患者さんは手術のあとに術前よりも元気な状態で退院を迎えることができ、患者さんの「笑顔」を実感でき、やりがいを感じることのできる診療科の一つです。

脳神経外科

脳神経外科は脳腫瘍、脳血管障害、神経外傷、脊椎・脊髄疾患、機能的疾患（三叉神経痛・顔面けいれん等）などを対象としています。当院は脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に24時間対応し、脳梗塞に対する超急性期の血栓溶解薬（tPA）静注療法だけではなく血管内治療による急性期血行再建術や頭蓋内出血に対する緊急の開頭術にも対応可能です。脳卒中に関しては脳神経内科の協力のもと保存的治療から外科的治療まで一貫しておこない、外科的治療は顕微鏡下手術、血管内治療、神経内視鏡手術に対応可能です。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

脳神経外科は特殊で難しい、忙しい、きついなどのイメージがあり、取っ付き難い科の一つと思います。脳神経外科領域はまだまだ発展途上であり、一度経験してみるとやりがいを感じます。

産科・婦人科

当院は、地域周産期母子医療センターならびに地域がん診療連携拠点病院に指定されています。長崎市内で周産期を扱っている総合病院は当院と長崎大学病院だけです。周産期と婦人科腫瘍を中心に行っていますが、一般婦人科診療も多く、産婦人科の総合的な研修ができます。また救命救急センターもあり、産科、婦人科疾患の救急疾患を学ぶ機会もあります。

【指導医数】 1名

指導医からのメッセージ

産婦人科研修は、臨床研修の必修科目として復活しました。学会での研修医に学んでもらいたい産婦人科知識のスライドや指導指針も充実しました。生命の誕生に携わるまたとない機会です。一緒にやりませんか。

整形外科

整形外科は運動器疾患を診断・治療する分野です。すなわち、骨、軟骨、筋、靱帯、神経などの疾患・外傷を対象としてその診断と治療を行う領域です。その対象は脊椎、脊髄、骨盤、上肢、下肢など広範囲に及びます。新生児から高齢者まですべての年齢層が対象となり、その内容は多様で患者がきわめて多いのも特徴です。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

整形外科は急速な高齢化や外傷の増加などにより、社会的ニーズの高い診療科です。その一端を経験いただき、整形外科に興味を持っていたきたい。

形成外科

一般に外科系診療科では①病巣を切除する、②痛みを除去する、③機能を回復させる、④形態を回復させるなどを目的に治療を行います。形成外科ではこのうち特に機能回復と形態回復を主眼に置いた外科的治療を行うことで社会生活の質（QOL : quality of life）の向上を図ります。

【指導医数】 1名

指導医からのメッセージ

当科では顕微鏡を用いたマイクロサージャリーによる再建を積極的に行っています。時間が空いたときに一緒に顕微鏡を覗いて手技の手ほどきをします。微小血管吻合の手技は形成外科のみならず、移植外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、整形外科、産婦人科、心臓血管外科などでも必要な手技です。

小児科

ひとことに小児といっても、新生児から中学生までは大きな成長をとげる時期なので、年齢・体格によって好発疾患も多少異なります。小児科にもsubspecialityはありますが、generalistとして特殊な疾患を除く小児全般の診療を行います。また年齢に応じた健康管理・治療を行いながら、長期的には、かわいい赤ちゃんから、どんどん成長していく様子を家族と共に喜ぶ楽しみがあるのも、小児科ならではの。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

将来小児の診療にたずさわる方には、こども達の明るさ・かわいらしさ・力強さと、小児科医が元気になる手伝いをしていることを体感いただき、それぞれの一步を始めてほしいと思います。小児科に興味がない方も、“こどもと なかよし”になって、まずは“こどもは苦手”というイメージを払拭してください。

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は専門性が高い科であると同時に、極めてその守備範囲が広く、外科系も内科系もどちらもできるのが魅力です。人数的には全体の医師数の2～3%という限られた人たちの集団ですが、その専門性を獲得すれば、限られた医師であることのメリットを生かして、診療所でも病院でも、また医育機関でも活躍の場が多い科とすることができます。またその診療対象は五感のうちの四つに及ぶため（聴覚、嗅覚、味覚、皮膚感覚（顔面））感覚機能改善という将来性の高い診療にチャレンジしています。

【指導医数】 1名

指導医からのメッセージ

極めて守備範囲が広く、外科系・内科系どちらもできるのが魅力です。内科系、外科系を決めかねている人はぜひ一度耳鼻咽喉科を体験してみてください。

泌尿器科

泌尿器科学は副腎、腎・泌尿器および男性生殖器の諸疾患を主な対象とする医学領域であり、診断から治療まで一連の診療を行う点から、内科的および外科的側面を併せ持っている。また広く他科領域に関連性を有していることも重要な点である。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

初診から検査を行い診断し、治療方針を決定、治療を行った後のフォローアップまで一貫して患者の診療にあたる、大変充実感のある科です。

皮膚科

皮膚科は外科系の要素と内科系の要素を併せ持つ診療科です。皮膚外科としては、皮膚悪性腫瘍の手術や、外科的手技を用いた皮膚疾患の治療を行います。また、他の外科系診療科とのコラボによるチーム医療も行います。皮膚内科としては、あらゆる疾患を、皮膚を見ることから始め、診断に至ることができます。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

皮疹をよく見ること。漫然と見てはいけない。近寄って時間をかけて見ること。皮疹を触ること。その皮疹の性状をつかむこと。

麻酔科

- ①周術期の患者管理
- ②急性疼痛患者の治療
- ③救急救命士の教育・指導
- ④集中治療管理

など業務内容は広範に及ぶが、その根底には「患者への安全な医療提供」というコンセプトを持つ。手術麻酔だけでなく、集中治療管理も研修できます。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

将来的に手術手技はますます高度化していくものと思われますが、麻酔管理も新しい優れた薬剤や手技の出現で、より安全性の高いものとなってきており、安心して業務を遂行できます。マスク換気・気管挿管の基本的な手技をしっかりと教えます。

麻酔科研修中に希望があれば、集中治療科研修は対応可能ですので問い合わせください。

集中治療科

診療科は問わない重症患者全般に対し、全身状態を安定化させ、早期回復に向けて専門的な診療を実践しています。生命維持に重要な臓器の障害、重篤化に対しては機械的補助装置、各種薬物療法などを駆使した専門性の高い急性期管理を提供します。

重症患者の初期対応からその後の集中治療管理、集中治療を実践するために必要なチーム医療を学ぶことができます。なお、麻酔科研修中に希望があれば、集中治療科研修は対応可能ですので問い合わせください。

【指導医数】 2名

指導医からのメッセージ

各診療科の重症患者管理を学ぶ機会があります。重症患者に対して必要な種々の手技、処置を学ぶことができるのはもちろんなのですが、集中治療室の患者をしっかりと診て、臨床経過を予測しながら治療を進め、「悪化した時に対応する」のではなく、「悪化させない治療介入」というものを学んでいただきます。

心療内科・精神科

当科は総合病院で常勤精神科医が勤務する数少ない病院の無床精神科です。当科研修の利点は、外来診療の中で基本的な精神疾患（うつ病、不安障害、認知症など）、リエゾン精神科疾患（他科入院中の精神疾患）、緩和ケア疾患など数多くの症例の研修が可能であること、当科研修期間に限らず、他科研修中も一貫した指導を提供できる点です。

【指導医数】 1名

指導医からのメッセージ

病気だけを診るのではなく、病気を持つことになりここで出会ったその人を見る。全人的医療の実践として、将来何科に進むにせよ、医師として人として、精神科研修は貴重な体験、人生勉強の場になります。

放射線科

放射線科は画像診断と放射線治療に大別されます。当院ではCT、MRI、血管造影、核医学検査などを行うための最新機器を有しており、interventional radiology (IVR) も積極的に行っています。放射線治療（ライナック装置や腔内照射装置による）も多数の患者に行っています。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

画像診断の重要性を理解してもらうとともに読影の面白さを体感してもらいます。

救命救急センター

救命救急センター立ち上げに伴って長崎地域における救急医療の中核病院となり、内因性疾患から外傷、中毒まで幅広く経験できるようになりました。救急では問診から診断、初期治療までをしっかり学ぶことができます。難しい診断ができたときや、重症患者を救命したときの達成感他診療科では経験できません。長崎は離島や僻地が多く、どの診療科を専門にしても、救急患者の初期対応や受け持ち患者の急変対応は必ず必要になります。初期研修医の2年間は今後医師として働く上で非常に大切な期間ですので、この機会にしっかり勉強してください。

【指導医数】 3名

指導医からのメッセージ

ローテートしている研修医の先生に、日々実力が付いていくのを感じています。特に救急に関連する診療科を希望する場合には、必須期間だけでなく、追加の研修をお勧めします。学ぶことは沢山あるので絶対に無駄になることはありません。

新生児内科

出産は胎内環境から、児が自ら呼吸をしていく胎外環境への胎盤を介した大冒険です。一般的に早産の発生頻度は7-9%とされ、出生時に補助呼吸など何らかの医療を必要とする新生児は5%、心肺蘇生を必要とする新生児は0.1%とされています。子宮内環境から体外環境への適応がうまくいかない場合には治療が必要となり、特に早産児や低出生体重児では体温管理を含めた全身的な集中治療が必要となり、我々の科が担当するのはNICUです。

【指導医数】 1名

指導医からのメッセージ

NICUとはNeonatal Intensive Care Unit、新生児+集中治療室の略です。特殊な領域と思われるがちですが、初期臨床研修で身につける集中治療の知識、思考を学べる機会になるかと思います。

病理診断科

病理診断を行い、治療方針を決めるということでチーム医療の一員として活躍しています。組織診断、細胞診、病理解剖が主な業務です。

【指導医数】 1名

指導医からのメッセージ

病理診断科は縁の下の力持ちで、通常はあまり目立ちません。しかし、病理診断なくして、正しい治療はあり得ないのです。病理医は不足しており、学生さん達や研修医の方々にもっと関心を持ってもらいたいです。

眼科

当院には近隣の眼科より幅広い領域の疾患をご紹介いただいています。特に総合病院であることから、内科疾患と関連のあるぶどう膜炎・網膜硝子体疾患などの治療を多く行っています。

【指導医数】 0名

※臨床研修指導医講習会受講予定者 1名

指導医からのメッセージ

『見える』ということは患者さんのQOLを考えたときに非常に重要な要素だと思います。白内障手術に代表される眼科での治療により患者さんの視力が改善され、喜んでいただけると非常にやりがいを感じます。もちろん患者さんの大事な目を預かる訳ですから、責任も重大です。研修をされた方に眼科の面白さ、眼科医というスペシャリストとしての魅力を感じていただければ幸いです。

研修環境の紹介

センター面談

3ヶ月に一度、センター職員との面談する機会を設けています。

ローテート中や夜間勤務に対する悩み事から、進路相談、その他プライベートの相談や悩み事まで、多岐に渡り研修医の先生方をサポートできる体制を整備しています。当院では、スタッフ全員で研修医を育成しています！



夜間勤務体制について

夜間勤務は主に救急外来での業務となります。月に平均2～3回程度宿直業務を行います。研修医が全てファーストタッチを行い、(重篤患者を除く)1年次から従事することで、疾患ごとのアセスメント能力や、判断力が身につきます。勤務明けの体制も整備されているので安心です！

研修医レクチャー

1年次研修医が入職して通常業務に慣れ始めた頃、2年次研修医より「青本レクチャー」が開始されます。これは研修医が当直業務中に会おうであろう症例に対し、一つ一つのCASEごとに勉強会を実施しているものです。

(※青本＝「研修医当直ご法度 百例帖」をいう。)

充実した研修生活を
送ってもらうことはもちろん、
一人一人に目を向けることで
自分自身に合った研修生活を
送ることもできますね。



////////// 研修医の1日を覗いてみよう！ //////////

研修医1日 (調査時：1年次・呼吸器内科ローテート)



Food



カフェ・コア

毎日、約50種類の焼きたてパンを販売。
スープやドリンクと一緒にいかが？
昼食時には、日替わりランチやパスタも販売します！

営業時間 平日／ 7:00～18:00
休日／ 10:00～18:00
※店内に飲食スペース有り

眺めが最高の屋上テラス

Ⅱ期棟4階屋上テラスからは、稲佐山や長崎港、
女神大橋を見渡せます。
疲れた時、ほっとひと休みできる空間です。

開放時間 9:00～20:00

View



Room



研修医室を完備

研修医だけが使用する執務室を完備しています。
1人1台机もあり、
学習環境はバッチリです！

みんなで集まって食事できるスペースもあり、
楽しい会話をしながら休憩できる空間です。

研修医専用の仮眠室も完備

研修医専用の仮眠室も完備しています。
シャワー室も併設しているので、夜間勤務を行って
も大丈夫！

Room





募集及び選考方法／問い合わせ先

募集方法	公募（令和5年第117回医師国家試験の受験予定者）
応募必要書類	・ 履歴者 ・ 卒業（見込み）証明書 ・ 成績証明書
選考方法	面接、適正検査
選考結果通知	医師臨床研修マッチング協議会から通知

問い合わせ先

長崎みなとメディカルセンター 教育研修センター

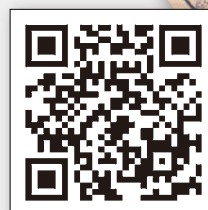
〒850-8555 長崎市新地町6番39号

TEL 095-822-3251（内線5298）

FAX 095-826-8798

E-mail nagasakiharbormedical-e.t.c@ncho.jp

URL <http://shibyo.nmh.jp/>



臨床研修の
詳しい情報は
HPをCHECK!!